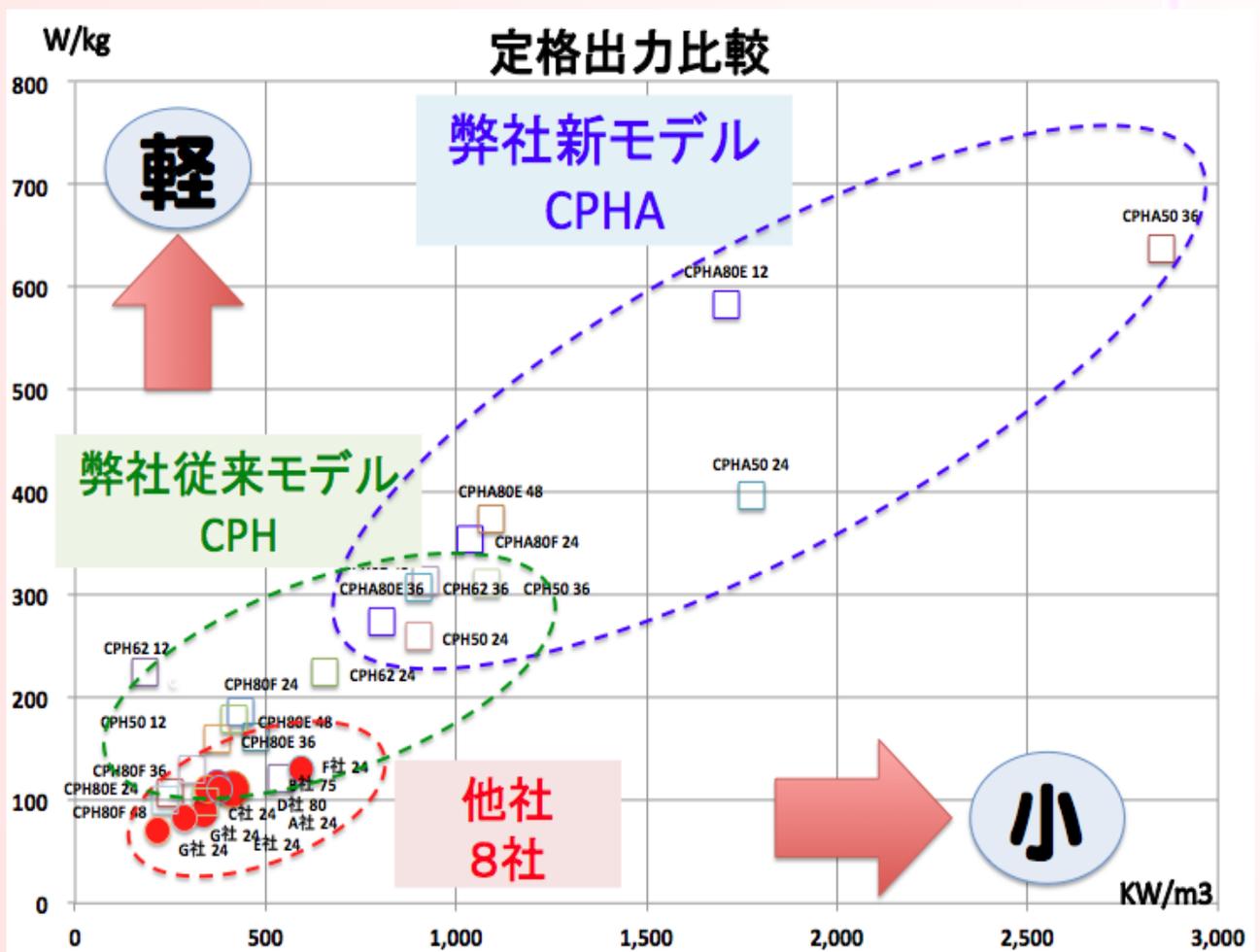


# ■ どのくらい軽いの？ 小さいの？

## 【定格出力比較】

- ★ 弊社従来モデル (CPH)
  - 小型度 1.8倍 軽さ度 3.4倍
- ★ 弊社新モデル (CPHA)
  - 小型度 4.4倍 軽さ度 5.0倍

\* 小型度2倍とは、同じ体積で2倍の出力を発生する。  
 \* 軽さ度2倍とは、同じ重さで2倍の出力を発生する。



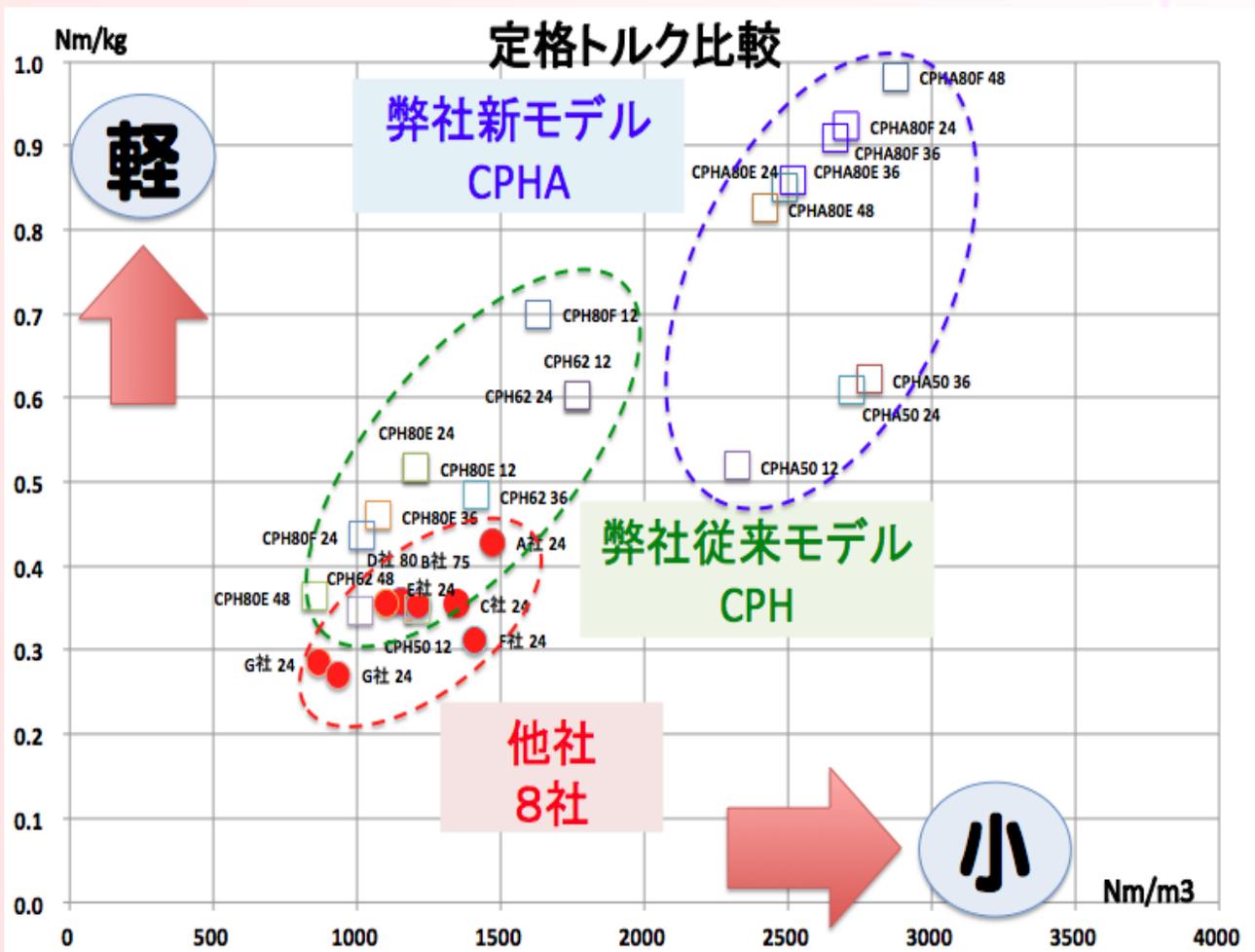
\* 2016年度、当社調査による結果をまとめたものである。

# ■ どのくらい軽いの？ 小さいの？

## 【定格トルク比較】

- ★ 弊社従来モデル (CPH)
  - 小型度 1.1倍 軽さ度 1.5倍
- ★ 弊社新モデル (CPHA)
  - 小型度 2.2倍 軽さ度 2.3倍

\* 小型度2倍とは、同じ体積で2倍のトルクを発生する。  
 \* 軽さ度2倍とは、同じ重さで2倍のトルクを発生する。



\* 2016年度、当社調査による結果をまとめたものである。

## ■ こんな使い方もあります

### 【短時間比較】

★1分定格では、連続定格の最大7.5倍！

- 短時間であれば、連続定格の何倍もの力がだせる！
  - なぜ大きなパワーがだせるのか？
    - ① モータのパワー、トルクの上限 → コイル、マグネットの温度の上限 → 総発熱量と自然放熱の総量で、この上限が決まる。
    - ② 総発熱量と自然放熱の総量は継続時間に比例するため。  
短時間であれば、総熱量が少ないため、より大電流が入力でき、更に大きいパワー、トルクが発生できる。
- ※ 連続定格は、総発熱量＝自然放熱の状態である。

例) (室温25℃環境にて当社測定)

モデル名	電圧 (V)	出力(w)			トルク (Nm)		
		定格	1分定格	倍数	定格	1分定格	倍数
CPH80E	48	304	730	2.4	0.62	1.98	3.2
CPH80F	48	172	1285	7.5	0.24	1.60	6.7
CPH62	48	258	613	2.4	0.28	0.85	3.0
CPH50	36	181	366	2.0	0.14	0.35	2.5
CPHA80E	48	480	710	1.5	1.06	1.90	1.8
CPHA80F	48	1085	1403	1.3	1.26	1.95	1.5
CPHA50	36	292	355	1.2	0.29	0.37	1.3

\* 弊社測定による結果であり、1分定格は保証するものではなく、参考値です。  
\* 1分定格で、1分以上モータを継続動作させると破壊される可能性があります。